

## モーゼス・アカツグバさんが赦免されました！



ナイジェリアのモーゼス・アカツグバさんが5月28日、デルタ州知事の赦免を受けて釈放されました。退任を間近に控えた州知事が最後の幹部会に出席後、発表されました。

10年前の2005年11月、強盗の容疑で逮捕されたとき16才だったモーゼスさんは、卒業試験の結果を待つ高校生でした。

容疑を否認したにもかかわらず、

警察に3カ月間拘束され、激しい拷問を受けて自白を強要されました。2006年3月、モーゼスさんは法廷に出廷し、武器強盗の容疑で追及されました。その後も拘禁が続き、モーゼスさんは、拷問で強要された自白と、わずか一人の証人の証言による不公正な審理で有罪とされ、2013年11月に死刑判決を受けました。

モーゼスさんの赦免を後押ししたのは、アムネスティが世界的に展開したキャンペーンでした。昨年のライティング・マラソンでも取り上げたこともあり、世界中から80万通を超える、減刑を求める手紙が州知事のもとに届きました。その手紙を受け取った知事が、モーゼスさんの赦免を検討する、と発言したのです。

ご協力いただいた皆さん、有難うございました。モーゼスさんからは次の感謝のメッセージが届いています。

「心底、希望をなくし、打ちのめされていた私に希望を与え、救い出してくれたのがアムネスティと支援者の皆さんです。感謝の言葉もありません。アムネスティの皆さんは、私にとって永遠のヒーローです。皆さんの努力を無駄にしないために、人権活動家となり、人のために闘うことを誓います。知事の温情と約束を果たしてくれたことにも大変感謝しています」

## オマール・カードルさんが保釈されました

カナダ国籍のオマール・カードルさんは2002年、15歳の時にアフガニスタンで武力紛争に関与した容疑で米軍に拘束され、その後グアンタナモ基地で拘禁されてきました。2012年にカナダに移送され、今年5月7日、カナダの裁判所の決定により、ようやくカードルさんが保釈されました。

オマールさんの釈放に向け2010年から活動を続けてきてくださった皆さん、有難うございました！

直近の情報は、カナダ支部のアレックス・ネーヴィーさんのブログで知ることができます。

<http://www.amnesty.ca/blog/omar-khadr-bail-ruling-once-again-the-courts-stand-up-for-rights-and-the-rule-of-law>

## カタール人のアル=ハマディさん、帰国！

カタール人のハマド・アリ・ムハマド・アル=ハマディさん(33才)は、アラブ首長国連邦(UAE)の裁判所に10年の刑を言い渡されていましたが、同国大統領の恩赦で釈放され、カタールに送還されました。

アル=ハマディさんは、カタールの公安局に勤務する同僚の4人とともに、TwitterでUAEの公務員を侮辱する記事や写真を掲載したとして、刑法・ネット犯罪法により起訴され、昨年6月末、カタールとUAEの国境で拘束されました。

アル=ハマディさんは、2013年9月にUAEに入国後、スマートフォンとSIMカードを購入し、後で共に有罪判決を受けた4人の同僚の一人に手渡したと「自白した」といわれています。検察は、その携帯電話はUAEを侮辱する意図でTwitterに投稿するために使用されたと主張していました。他の4人は裁判に出席できないまま起訴され、終身刑を宣告されていました。

本件に関するアクションはこれで終了します。アピール文を送っていただいた皆さん、有難うございました！

## ラグネスさんのためにアクションを！



5月号の続報です。でっち上げの容疑で拷問を受けたメキシコのアドリアン・バスケス・ラグネスさんについて、メキシコの連邦検察庁はいまだ起訴の取り下げについて態度を明らかにしていません。検事当局に起訴を止めさせるために、協力して圧力をかけ続けることが重要です。一方、

ラグネスさんに拷問を加えた警察官に対しては、裁判官は、容疑を認め逮捕を許可するかどうかの判断を保留しています。アムネスティは、裁判所の判断や、バハ・カリフォルニア州人権委員会の最新レポートを注視しています。ラグネスさんは、自分の健康状態は良好だということですが、今後の見通しには、かなり不安を感じているとのこと。

**STOP  
TORTURE**

ラグネスさんの釈放と起訴の取り消しを求めて、ぜひ関係機関に改めて手紙を書いてください。例文と宛先は、アムネスティのウェブサイト⇒「あなたにできること」⇒「緊急情報」の4月30日付メキシコの記事をご覧ください。

## ユニティ新聞社の5人のためにアクションを！

ビルマ（ミャンマー）の裁判所は昨年の7月10日、国家機密を暴露したとして、ユニティ紙の記者ら社員5名に、重労働を含む10年の刑を下しました。これはビルマの表現の自由に暗い影を落とす判決でした。



ユニティ紙は、ある工場が化学兵器を製造していることをすっぱぬく記事を掲載し、その報道が国家機密法に違反に当たるとして、逮捕・起訴されました。アムネスティはこの1年、この5人の釈放を求めてきましたが、特に当局の動きはまだありません。しかし、皆さんの声は確実に当局に届いています。今後は特に、圧力に敏感なビルマの情報省や人権委員会を対象に運動をしていきたいと考えています。詳細は追ってご案内します。

## 強かんで妊娠した少女に中絶の選択権を！

### MY BODY : MY RIGHTS

先月もお伝えしましたが、パラグアイで義父に強かんされて妊娠して危険な状態にある10才の女児の続報です。本人や母親の求めにもかかわらず、いまだ中絶などの選択肢は与えられていません。世界保健機構などの専門家は、身体的に十分に発達していない女児の妊娠は、非常に高いリスクがあるとしています。4月末、母親は娘の中絶を求める行政手続きをとりましたが、いまだ事態は動いていません。

アムネスティは、世界中の支援者の協力を得てこれまでに50万通を超える要請文を送ってきました。パラグアイが女児の生命と希望を最優先した措置を取るよう、今後も働きかけていきます。

ぜひ、皆さんも引き続きアクションに参加してください。ウェブサイト⇒「あなたにできること」⇒「オンラインアクション」内の「緊急アクション：パラグアイ 強かんで妊娠した幼い女の子の命を救って！」からお入りください。

### UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町 2-12-14 晴花ビル 7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp  
UA 年会費 3000 円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本